

国道2号 あさ はぶ 厚狭・埴生バイパス

平成18年度 部分供用

- 一般国道2号の宇部市から下関市に至る区間では、渋滞や事故が多発し、都市活動に大きな影響を与えています。
- これらの渋滞緩和や交通安全対策を目的として、宇部市逢坂から下関市松屋東町二丁目に至る延長12.6kmの「一般国道2号厚狭・埴生バイパス」を建設しています。
- 平成18年7月に県道埴生停車場線から下関市松屋東町二丁目までの延長2.7kmが暫定2車線で供用されました。



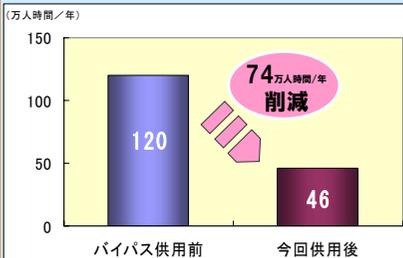
取組み概要

平成18年度 整備事例【国土交通省事業】

■ 渋滞損失時間の削減

今回の部分供用 (L=2.7km・暫定2車線供用) により、74万人時間/年の渋滞損失時間が削減されました。

▼ 渋滞損失時間の削減 (国道2号)



「H11年道路交通センサス」、「バスプローブデータ」



整備効果

国道262号 萩バイパス

平成18年度 部分供用

- 一般国道262号萩バイパスは、慢性的に渋滞している市内中心部を通過する現道の渋滞解消を目的に整備を進めています。
- 平成18年度は、萩市椿地区の改良工事を推進し1.2km区間で部分供用されました。



県道67号 萩川上線

- 一般県道萩川上線は、萩市街地周辺の住居地を通過し、沿線の松陰神社や、道の駅「萩しーまーと」等の主要観光施設へのアクセス道路として利用されています。
- しかし、現道は歩道が狭小で、集中する観光交通と一般交通によって大変危険な状況であり、安全で円滑な交通の確保を目的としてバイパス (延長1.0km) の整備を進めており、平成18年10月7日に残りの区間 (0.7km) で供用されました。



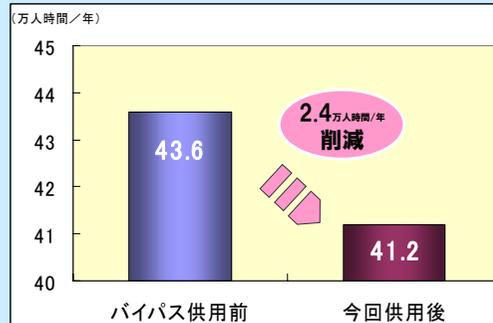
取組み概要

平成18年度 整備事例【山口県事業】

■ 渋滞損失時間の削減

今回の部分供用により、2.4万人時間/年の渋滞損失時間が削減されました。

▼ 渋滞損失時間の削減



整備効果

地域の自活を支えるみちづくり (1) 渋滞損失時間

地域の自活を支えるみちづくり (1) 渋滞損失時間